

# 新専門医制度の動向

大阪医科大学 医療プロフェッショナル支援室室長  
内科学Ⅲ・循環器内科 専門教授

星賀 正明

専門医制度が新しくなる、と大騒ぎになり、当初は今年の4月から開始される予定でありました。新制度導入を前にして、平成27年5月に大阪医科大学で専門医制度に造詣の深い先生方と座談会を行い、その様子が本誌に掲載されました（No.44, page2～26）。専門医制度の歴史や課題、各領域での違い、などが綴られ、大変私自身勉強になりました。

新専門医制度を導入する第一の目的は、各領域の学会が独自で認定していた専門医制度に、統一した基準を導入し、「日本専門医機構」という第三者機構が認定しよう、ということであったと記憶しています。しかし、ご存知のように、「日本専門医機構」が主導する当初の計画は頓挫し、昨年7月に延期が発表されました。ところが、学会主導で、当初予定されていた新プログラム（暫定プログラムと呼ばれています）を今年4月から導入しよう、という領域が半数近くあるというのが現状です。

全部で19の領域が、それぞれ独自の対応をとって、混沌とした状況です。大阪医科大学ホームページのトップページから、専門研修（後期研修）プログラムのボタンで、専用サイト（図1）にアクセスできます。このサイトに、最新情報を掲載しておりますので、ご覧ください。

具体的には、

- ① 暫定プログラム（もしくは準じたプログラム）を用いるのが、小児科、外科、整形外科、耳鼻咽喉科、病理、救急、形成外科の7領域
- ② 従来から専門医制度改革が進んでおり、現行改定のような制度を用いるのが、産婦人科、脳神経外科、麻酔科の3領域
- ③ 従来プログラムのままなのが、内科、皮膚科、精神科、眼科、泌尿器科、放射線科、臨床検査科、リハビリテーション科の8領域
- ④ 新しく導入予定であった総合診療科は、家庭医療専門研修プログラム（プライマリケア学会）を使用になりました。

その後、昨年12月末に、新体制となった日本専門医機構が「専門医制度新整備指針」を発表しました。（<http://www.japan-senmon-i.jp/news/doc/sinseibisisin2016.12.16.pdf>）主な変更点を挙げますと、①プログラムの定員を、都市部（東京、神奈川、愛知、京都、大阪、福岡）では、より抑制的に調整する、②専門研修形態を、これまでの「プログラム制」以外に、「カリキュラム制」の導入を可能とする、③ダブルボード（複数の基本領域専門医の取得）を妨げない、などがあります。「カリキュラム制」は、イメージが掴みにくいですが、ダブルボード取得やサブスペシャリティ専門医取得の際に利用されると予想されます。19領域の関連サイトのURLを文末に掲載していますので、ご利用ください。

領域名	H28年度の専門研修プログラム	掲載開始日
内科	現行プログラム	28/7/30
小児科	暫定プログラム	28/8/1
皮膚科	現行プログラム	28/7/6
精神科	現行プログラム	28/7/16
外科	暫定プログラム	28/8/1
整形外科	暫定プログラム	28/8/5
産婦人科	現行プログラム改訂版	28/8/18
眼科	現行プログラム	28/8/10
耳鼻咽喉科	暫定プログラム	28/7/1
泌尿器科	現行プログラム	28/8/15
放射線科	現行プログラム改訂版	28/7/1
臨床検査科	現行プログラム	28/8/1
麻酔科	現行プログラム改訂版	28/7/1
病理	暫定プログラム	28/7/1
救急	現行プログラム	28/8/1
形成外科	暫定・現行いずれのプログラムでも研修を行うが選択	28/7/27
リハビリテーション科	現行プログラム	28/7/27
総合診療科	家庭医療専門研修プログラム	28/8/8

図1:大阪医科大学ホームページ 専門研修プログラム  
[http://hospital.osaka-med.ac.jp/career\\_support/project/resident\\_program.html](http://hospital.osaka-med.ac.jp/career_support/project/resident_program.html)

この新整備指針に基づいて、各領域で再申請がなされると予想されます。内科専門研修プログラムは、2月末が再申請締め切りで、現在取りまとめの真っ最中です。内科プログラムにおける最も大きな変更点は、専門研修期間中に、サブスペシャルティ研修を最大2年間行えるようになり、サブスペシャルティ専門医取得までの期間が現行制度と同等になりました。例えば、循環器専門医というサブスペシャルティ専門医を取得する目的で、内科専門研修プログラム期間中に最大2年間で循環器研

修に当てられるというものです。

新専門医制度は、一部が今年4月から開始され、来年4月からは全領域で本格実施される予定です。大阪医大では、全ての領域で基幹施設となって専門研修プログラムを進めていきます。関連施設と、より強固な連携が必須になります。どうぞ、よろしくごお願い申し上げます。

#### 参考文献

新専門医制度に対する大阪医大の取り組み  
星賀正明：大阪医科大学仁泉会ニュース  
48(1); 28-9, 2017.

## 専門19領域の関連サイト

- 内科 <http://www.naika.or.jp/nintei/shinseido2018-2/>
- 小児科 [https://www.jpeds.or.jp/modules/specialist/index.php?content\\_id=9](https://www.jpeds.or.jp/modules/specialist/index.php?content_id=9)
- 皮膚科 [https://www.dermatol.or.jp/modules/specialist/index.php?content\\_id=36](https://www.dermatol.or.jp/modules/specialist/index.php?content_id=36)
- 精神科 <https://www.jspn.or.jp>
- 外科 <https://www.jsoc.or.jp/procedure/specialist-new/info20160801.html>
- 整形外科 [https://www.joa.or.jp/jp/edu/public\\_offer/about\\_2017.html](https://www.joa.or.jp/jp/edu/public_offer/about_2017.html)
- 産婦人科 [http://www.jsog.or.jp/activity/pro\\_doc/index.html](http://www.jsog.or.jp/activity/pro_doc/index.html)
- 眼科 <http://www.nichigan.or.jp/index.jsp>
- 耳鼻咽喉科 [http://www.jibika.or.jp/members/nintei/senmon/kensyu\\_2017.html](http://www.jibika.or.jp/members/nintei/senmon/kensyu_2017.html)
- 泌尿器科 [https://www.urol.or.jp/specialist/system/about\\_new.html](https://www.urol.or.jp/specialist/system/about_new.html)
- 脳神経外科 <http://jns.umin.ac.jp/member/specialist.html>
- 放射線科 [http://www.radiology.jp/specialist/s\\_information.html](http://www.radiology.jp/specialist/s_information.html)
- 麻酔科 <http://anesth.or.jp/student/kensyu-program-list.html>
- 病理 <http://pathology.or.jp/senmoni/newsystem.html>
- 臨床検査 <http://www.jslm.org/newsys/index.html>
- 救急 <http://www.jaam.jp/index.htm>
- 形成外科 <http://www.jsprs.or.jp/member/specialist/program/>
- リハビリテーション科  
[http://www.jarm.or.jp/member/member\\_system/member\\_system\\_aboutnewsys-sp.html](http://www.jarm.or.jp/member/member_system/member_system_aboutnewsys-sp.html)
- 総合診療科 家庭医療専門研修プログラム  
<http://www.primary-care.or.jp/nintei/rule.html>